

ワークショップ

評価からはじめるまちづくり！

(2日目)



平成22年11月18日 盛岡市 行政経営課

先週のおさらいと本日のねらい

・グループワーク

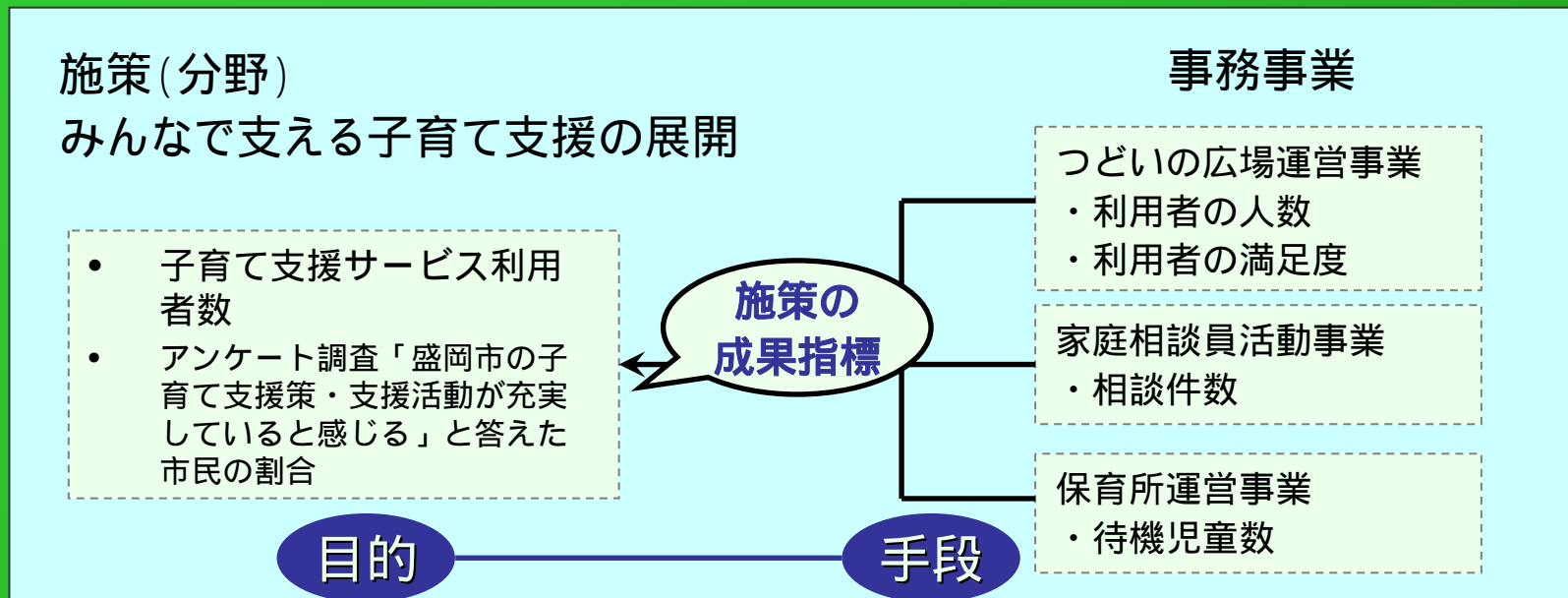
施策の成果（達成度）を評価
してみよう！

生活実感に基づいて評価

・グループワーク

もっと市民の感覚に近い成果指標が
ないか考えてみよう！





前回書き出した付せん一つひとつをヒントに…

あるべき姿・状態はどのようなものか。



それを数値で測ろうとすれば、どのような情報が必要か。

本日のグループワークの流れ

- 1 前回のワークのおさらい
- 2 成果指標を考える（個人ワーク：ポストイットへ指標名を記入）
- 3 個人発表
- 4 グループングと指標化の課題についての討論
- 5 グループ内のイチオシ指標の決定



成果指標の活用について

市長以下トップ層による評価活動

施策の成果指標は、市長以下トップ層が次年度の重点方針を決定する際に、「今後、施策の成果を向上させる余地がどれくらいあるか（成果向上余地）」などを判断するための情報として参照されています。



各グループが検討する施策

1 班

暮らしを支える制度の充実と自立支援

2 班

自然災害対策の推進

3 班

いつでもどこでも学ぶことができる
環境の構築

4 班

まちに活力を与える工業の振興

5 班

健全な財政運営の実現



指標の採用例

- ◆ 施策 「活力ある農林業の振興」
 - 従前 農業純生産額
 - 採用 新たに農業を始めた人の数

- ◆ 施策 「地域をリードする医療体制の構築」
 - 従前 市民アンケート調査「いつでも受診できる医療機関がある」と答えた市民の割合
 - 採用 市民アンケート調査「盛岡市夜間急患診療所を知っている」と答えた市民の割合

- ◆ 施策 「高齢社会に適応した高齢者福祉の充実」
 - 従前 介護保険認定者数 / 65歳以上人口
 - 採用 市民アンケート調査「生きがいを持って暮らしている」と答えた高齢者の割合



H21年度
5件採用

